

「小規模飲食店に設ける厨房用自動消火装置等のあり方に関する検討部会」の開催

予防課

1. 背景・目的

飲食店の火災で最も多いのはこんろを出火原因とする火災であり、こんろ火災のうち約6割がその場を離れている間に出火しています。平成28年12月に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災においても、飲食店の大型こんろを消し忘れたままその場を離れたことにより出火し、甚大な被害が発生したところです。

こんろ火災には自動消火装置が有効ですが、現在、大規模な厨房を対象とした機器と住宅の台所を対象とした機器の大きく分けて2種類しかありません。前者は十分な消火性能を有していますが、高価で専門業者による設置工事が必要となります。後者は安価で個人により設置可能ですが、あくまで住宅の台所を対象としたもので小規模飲食店も含め業務用こんろの火災に対応できる消火性能を有しているものではありません。

このような状況を踏まえ、小規模飲食店の厨房を対象とした自動消火装置に求められる性能やその他厨房設備の防火安全対策のあり方について検討するため、「小規模飲食店に設ける厨房用自動消火装置等のあり方に関する検討部会」を開催することとしました。

2. 検討項目

主な検討項目については、次のとおりです。

- (1) 小規模飲食店の厨房用自動消火装置に必要とされる性能の検討
- (2) 厨房設備の防火安全対策の検討

3. 第1回検討部会の概要

近年、住宅におけるこんろ火災が急減しているのに比べ、飲食店におけるこんろ火災の減少幅が小さいといった実態や既存の厨房用自動消火装置の技術基準等を踏まえ、小規模飲食店の厨房用自動消火装置に必要とされる性能や厨房設備の防火安全対策に関する検討の方向性等について議論が交わされました。

また、全国飲食業生活衛生同業組合連合会から昨今の飲食業態の多様化に関する飲食店の実態について説明をいただいたほか、小規模飲食店における厨房の実態把握を行うため、飲食店の厨房機器等に関してアンケート調査を実施することにしました。

4. 今後のスケジュール

飲食店に設置されている厨房機器等の実態調査を実施し、当該調査結果を踏まえ自動消火装置に必要とされる消火性能等を実験により検証するとともに、技術基準を

ガイドラインとして取りまとめる予定です。



5. 委員

＜学識経験者＞

- | | |
|--------|-----------------------|
| ◎松原 美之 | 東京理科大学火災科学研究所教授 |
| 倉渕 隆 | 東京理科大学工学部学部長 |
| 中村 祐二 | 国立大学法人豊橋技術科学大学機械工学系教授 |

＜関係団体＞

- | | |
|--------|-------------------------|
| 伊東 明彦 | 一般社団法人全国生活衛生同業組合中央会専務理事 |
| 大木 健二 | 一般社団法人日本消火装置工業会第一部会部会長 |
| 小城 哲郎 | 全国飲食業生活衛生同業組合連合会専務理事 |
| 佐々木 定雄 | 一般社団法人日本ガス石油機器工業会専務理事 |
| 佐藤 学 | 日本消防検定協会消火・消防設備部消火設備課課長 |
| 松崎 徳之 | 一般財団法人日本消防設備安全センター調査役 |
| 由利 剛 | 一般社団法人日本厨房工業会事務局長 |

＜消防機関＞

- | | |
|-------|---------------|
| 池町 彰文 | 千葉市消防局予防部指導課長 |
| 島津 雅則 | 大阪市消防局予防部予防課長 |
| 中野 孝雄 | 東京消防庁予防部副参事 |

＜消防庁＞

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 田村 裕之 | 消防大学校消防研究センター技術研究部大規模火災研究室長 |
|-------|-----------------------------|

(◎：部会長)

※上記については、第1回検討部会開催時の委員となっています。